

バリアフリー法新旧基本方針（平成23年改正）における目標
〈平成32年度までの達成目標〉

○ 旅客施設（共通）

1日当たりの平均的な利用者数が（旧：平成22年（2010年）まで）5,000人以上→（新：平成32年度まで）3,000人以上の鉄軌道駅、バスターミナル、旅客船ターミナル及び航空旅客ターミナルについて、原則としてすべて、

- ・段差の解消
 - ・視覚障害者誘導用ブロックの整備
 - ・障害者用トイレの設置
- 等のバリアフリー化を実施する。

○ 車両等

（旧：平成22年（2010年）まで）

| 車両等の種類 | 車両等の総数 | 目標値 |
|--------|---------|------------------------------------------------------------|
| 鉄軌道車両 | 約52,000 | 約26,000（約50%） |
| バス車両 | 約60,000 | 平成27年までに、原則としてすべて、低床化された車両に代替（うちノンステップバス） 約18,000（約30%） |
| | | 約18,000（約30%） |
| 福祉タクシー | — | 約18,000 |
| 旅客船 | 約1,000 | 約500（約50%） |
| 航空機 | 約530 | 約340（約65%） |

（新：平成32年度まで）

| 車両等の種類 | 車両等の総数 | 目標値 |
|--------|--------------------------|-----------------------------------|
| 鉄軌道車両 | 約52,000 | 約36,400（約70%） |
| バス車両 | 約50,000 （適用除外認定車両を除く） | ノンステップバス 約35,000（約70%） |
| | 約10,000 （適用除外認定車両） | リフト付きバス又はスロープ付きバス 約2,500（約25%） |
| 福祉タクシー | — | 約28,000 （ユニバーサルデザインタクシーを含む） |
| 旅客船 | 約800 | 約400（約50%） |
| 航空機 | 約530 | 約480（約90%） |